

## Y. H. 英語英文学科 4年次

### I. 留学レポート

#### ①留学決定から出発までの準備期間

留学が決まってから出発まではあっという間に時間が過ぎていきました。短い時間の間に必要な手続きを全て済ませなくてはならないので要領よく行動する必要がありました。何よりもまずパスポートの期限を確認するのが大切だと思います。パスポートは申請から発効までに意外と時間が掛かりますし、ビザの発行にも航空券の手配にもパスポートは必要ですので、もしもパスポートのことで手間取ってしまうと出発までに必要な手続きができなくなることもあります。気を付けてください！また私は現地までどの程度のものを持参するかでかなり迷いました。何が必要かは個人差があると思いますので参考までに寮内の設備を紹介します。

アイロン、浄水機(冷水・温水)、ガスレンジ、洗濯機、乾燥機、パソコンは共同設備として備え付けられており、各部屋には個人用鍵付き金庫、クローゼット、冷蔵庫もあります。パソコンに関しては授業の課題などでどうしても必要ですし、試験前には空きが無くなる可能性もあるので持参をお勧めします。(寮内校内はWi-Fiも敷いてありますので心配いりません。もし不安定であっても有線を寮で貸し出してくれます。) シャンプーや洗濯洗剤などの生活用品は全て各自での準備が必要ですが、学校の近くにスーパーがありますので十分現地で調達できます。

出発までは準備で忙しく期待や不安でいっぱいになり勉強が疎かになりがちだと思います。韓国留学に関して言えば語学堂の授業を通して十分に語学の習得は可能だと思いますが、開始の時点での実力次第でより一層の成長が望めるのも事実です。自分の努力次第でいくらでも可能性を広げることができると思います。せっかく努力して学校代表の留学生に選ばれたのだから少しの時間でも悔いのないように過ごしてみてください！応援しています！

#### ②現地到着後

仁川空港でソウル女子大学が派遣してくれたピックアップのタクシーに拾われました。学校に到着すると国際協力チームの日本人担当の先生が寮内の設備や規則などを軽く説明してくださいました。その日の夜に外国人学生全員を集めてのオリエンテーションもありました。現地入りしてからは語学堂授業の登録、外国人登録証の申請、学生証の発行、銀行口座の開設など諸々の手続きが必要ですが、順を追って国際協力チームの先生やトウミと呼ばれる韓国人学生サポーターがきちんとサポートしてくれるので韓国語に自信がなくても心配はいりません。私自身がこういった手続きを通して感じたことなのですが証明写

真は多めに持っておいた方がいいと思います。学校内で証明写真を撮ってもらうことも可能ですが、週末など必要な時に急には用意できないこともありえるのでたくさん持って行って損はないと思います。また私たち留学生は長期休暇の時期を除いて国際生活館と呼ばれる学生寮で生活することになるのですが、他大学からの日本人留学生だけでなくカンボジア人、ベトナム人、ロシア人、モンゴル人など本当に世界各国からの留学生と生活を共にすることになります。私は韓国語を使いたくて仕方がなかったので寮で面識のない留学生を見かける度に声を掛けていたように思います。語学堂や正規の授業を受けるだけで満足するのではなく、自分に何が必要か、それを得るためには何が必要なかを常に考え、目標を立てながら生活すればより一層濃い10カ月になると思います。

### ③語学研修期間

#### ◆語学研修先の施設・環境について

まず語学堂は学内図書館の地下にある韓国語教育部というところでの授業になります。開講前にクラス分けテストがあり、そこで初級は1級から上級は6級までのクラスに振り分けられることになります。授業だけでなく運動会や文化体験、クラス対抗の歌自慢大会など様々なカリキュラムが組まれています。テスト後は担任の先生と一対一の面談が行われるなどフィードバックの体制も整っています。地下ということもあり夏も冬も寒いので、気合を入れて防寒してください！

#### ◆授業内容、課題、試験

授業は毎日4時間行われます。最初の2時間で文法、次の1時間で読解、最後の1時間は前回の授業の復習やその日に習った内容の定着に繋がるアクティビティーなどです。課題は級が上がるにつれて量も増え、その難易度も上がります(例えば4級ではパワーポイントを使ったテーマ別研究発表や韓国で就職することを想定しての模擬面接など)。ですが毎回の小テストに備えて授業の予習復習を欠かさずにやっていたら定期試験で落第点をとることはまずありません。逆に言えば1日4時間の授業で習う単語や熟語の量は意外に多いので復習をさぼる癖がついてしまうと定期試験前は眠れない日々が続くと思います。定期試験には中間試験、期末試験があり、文法試験、読解試験、筆記(作文)、面接、リスニングで構成されます。それぞれ60点を下回るとFが付き、Fが二つ以上付いたり平均点が60点を下回ると進級できません。

### ④正規科目履修期間

#### ◆大学の施設・環境について

郵便局や銀行はもちろんのこと、文房具店、ネイルサロン、ブティック、喫茶店など様々な設備が揃っています。校内は自然が溢れ森林公園のようです。ソウル女子大学はソウルの端の方にあるため新村などの学生街からは遠く離れていますが、学校の近くにはおいしい食堂も素敵なカフェもたくさんあります。不自由に感じたことはありませんでした。

#### ◆履修科目

出発前にソウル女子大学から送られてきたシラバスを読み、学年主任の先生の協力の下で科目を決定しました。私の場合は卒業年次での留学ということでゼミナール科目に変わる科目 4 単位分だけを履修すれば良かったのですが、英文科のゼミナール科目ということで英語に密に接する講義を受講せねばならず、私の英語力では単位取得のために相当の努力が必要でした。

##### 「Social Issues in Movies」

映画の中にテーマを見つけ、それについてディスカッションと発表を行うという生徒主体の講義でした。基本の活動単位が 4 人ずつのグループです。1 回の講義を丸々使ってクラス全員で映画を鑑賞し、翌週の授業でその映画を担当するグループが 120 分のプレゼンテーションを行います。そのプレゼンテーションの中にディスカッションも含まれており、プレゼンテーションを担当するグループが考えた議題に沿ってそれぞれのグループが話し合い、意見を発表し合います。定期試験の代わりにエッセイの提出が 2 回ありました。講義中の使用言語は英語のみです。

##### 「Understanding Contemporary Korean Society」

韓国の社会問題について学びます。講義のサイクルとしては教科書と配布される単語リストを使っての予習、先生による内容補足、ディスカッション、発表です。この講義は人気が高いのと同時に英語に自信のある学生が集まり、内容自体も難しいためディスカッションに参加するためには予習も欠かせませんでした。3 人グループでの 30 分程度のプレゼンテーションのほか中間と期末の 2 回の定期試験もありました。これも講義中の使用言語は英語のみです。

#### ◆授業、レポート、定期試験

授業について上記で説明してしまったのでここで一言アドバイスを！留学生ということで先生方は広い心で受けとめてくださいます。レポートのテーマが難しすぎると感じたり授業になかなかついていけないと感じたら遠慮なく相談してみてください。英文科から韓国に行かれる方は覚悟して頑張ってください！

#### ⑤クラブ、課外活動、ボランティア活動

私は人間関係を広げたいという思いから、学外で開催される一般の交流会などに頻繁に参加していました。そこで親しくなった友人と旅行に行ったり、またその友人の友人に出会ったりとかけがえのない出会いがたくさんありました。

#### ⑥現地での住まいについて

最初に説明したように私たち留学生は国際生活館と呼ばれる学生寮で生活します。国際生活館は 2 人部屋しかなく、また壁が薄いので大声で騒いでいると隣の部屋から注意を受けることもあります。長期休暇に入ると隣にあるシャロムハウスというもう一つの学生寮に引っ越すこととなります。シャロムハウスに引っ越すときと国際生活館に戻るタイミング

で新しく一緒に住みたいルームメイトの申請ができ、申請用紙にお互いの名前を書いて提出して初めて適用されます。シャロムハウスには2人部屋と4人部屋があり、私は夏に4人部屋で生活しましたがとても楽しかったです。

### ⑦長期休暇の過ごし方

語学堂のクラスメイト同士誘い合っけて出かけたり、市外まで旅行したりしながら過ごしました。

### ⑧留学期間中の就職活動の取り組み

私は卒業年次での留学ということと、教育実習を控えて卒業後も科目等履修生として大学に通う必要があったため就職活動を1年間延期することにしました。ただでさえ人よりも就職が遅れてしまうのに12月の後半に帰国ということによって不安もたくさんありましたが「10ヵ月」という限られた時間を大切にしたいと思ったため留学中は韓国での生活に集中することに決めました。

## II. 留学の感想

### ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

毎日が新鮮で夢のように楽しかったですが、そんな生活の軸になってくれたのはいつでもルームメイトでした。私は引っ越しの度に毎回ルームメイトが変わりましたが、最初から最後までルームメイトに恵まれていたと思います。同志社女子大学から共に旅立った記念すべき初のルームメイトと留学初日に心細さから大泣きしたことも今となってはいい思い出です。4人部屋で一緒に暮らした3人のルームメイトは全員年下でしたが、私にはないものをたくさん持った、尊敬できるすばらしい後輩たちでした。そして最後のルームメイトは何でも話せるかけがえのない存在になりました。全員ばらばらの大学から集まり、日本では会ったこともなかった私たちが、韓国で生活を共にしながら親しくなったということが私にとっては不思議で、同時に最も嬉しいことでした。親元を離れた環境だったからこそ近くにいる人の大切さを深く感じることができました。

### ② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

ゼミナール科目への単位変換のために受講した英語講義が一番辛かったです。韓国人の英語力にはやはり目を見張るものがありました。英語ができないことで自分が恥を搔くのは構わないのですが、グループでのプレゼンテーションやディスカッションでチームの足手まといになってしまうことを毎回申し訳なく感じていました。また食事も問題でした。私は辛いものが苦手なため韓国の食に馴染むまで腹痛に悩まされていました。

### ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

お酒のゲームが日本よりもはるかに発達しています。ゲームの種類も豊富ですし、韓国でお酒の席でのゲームは人と人を繋げる一つの文化として成立していると思います。ただそ

の反面お酒が苦手な人にとっては辛くもあると思います。飲みたくない場合ははっきりと意思表示する必要があると思います。

### Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

#### ① 留学先大学の良かった点、悪かった点

語学堂のシステムのために苦労したことがありました。語学堂の授業は受講生が5人以上で開講になるのですが、私は最後の学期、受講生が足りないとのことで該当クラスを履修できませんでした。その分独学しなくてはならなかったのが大変でした。

#### ② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

新生銀行の海外送金サービスはとても便利です。口座をあらかじめ作っておき、そこに日本から円を入金してもらえば韓国でウォンを引き出すことができます。学校内の銀行の前にあるATMから出金できます。

#### ③ 語学力の向上等、留学の成果

留学生たちは韓国語能力試験(TOPIK)の合格を目安として日々勉学に励みます。日本で出発前に受験したときは惨敗だった私が最終的には5級(高級)を取得することができました。また発音も韓国人に間違われるほどに上達しました。

#### ④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学最高です！私はこの留学を通して自分を変えることができたと思います。何をやるにも中途半端だった私が自力で一つのことをやり遂げたというのも大きな変化ですし、何よりも自分に少し自信を持つことができました。10ヶ月という貴い時間の中で得たものは私のこれからの人生の糧になると思います。留学「しようかどうか」迷っているのなら思い切って挑戦してみてください。一瞬の大学生活を悔いのないように過ごして欲しいと思います。応援しています！

#### IV. 写真

帰国を間近に控えた私たちのために、交流会で知り合っ親しくなっお姉さんがホテルの部屋を予約して送別会を開いてくれました。お互いの国の料理を振舞い、朝まで色々な話をしました。



最後の思い出に韓服を着て写真を撮りに行きました。フォトショップを使ってたくさんいじられはしましたがいい思い出として今も残っています。



## R. I. 社会システム学科・4年次

### I. 留学レポート

#### ①留学決定から出発までの準備期間

留学が決まってからは、忙しい毎日でした。私は四回生ということもあり、帰国後の就職活動の予行練習として就職活動も並行して行いました。就職ガイダンス、合同説明会、インターンシップと留学が決まってからも参加していました。

また留学準備として、ビザの取得、航空券の購入、荷物の準備をしました。ビザ取得には一週間ほどかかるので早めに申請したほうがいいと思います。航空券は一年間有効の留学生往復航空券(JAL航空券)を購入しました。JALのソウル支店で帰国日は変更できますし、安く購入できるのでおすすめです。また、新生銀行の海外送金サービスを利用するためにカードを作りに行きました。ネットバイキングを利用し、日本からお金を入金してもらって韓国でおろせるので便利です。

韓国語は特に勉強していませんでした。ただ留学直前まで、あるドラマにはまり見続けていました。

#### ②現地到着後

金浦空港からソウル女子大学までは大学が用意してくれたワゴン車で行きました。到着後、まだ言語的な壁があるのにも関わらず、様々なことをしなければなりませんが、国際協力部の日本語担当の先生が手伝ってくれると思います。安心してください。

#### ③語学研修期間

##### ◆語学研修先の施設・環境について

語学堂はふたつあります。ひとつは図書館の下でWi-Fiは不安定ですが、寄宿舍からは近いです。もうひとつは大学の中心からは少し離れた自然に囲まれたところですが、Wi-Fiは安定しています。どちらも勉強しやすい環境だと思います。語学堂ではいろいろな国から来た留学生たちと一緒に勉強できるので毎日楽しく勉強できると思います。

##### ◆授業内容、課題、試験

課題は多いですが、授業に出席して真面目に受けていれば、授業内容は難しいものではないと思います。ただ進むスピードは早いので、復習はしっかりやっておいたほうがいいと思います。試験は難しくはありませんが、範囲が広いので毎日の復習が大切です。特に単語は単語帳を作って覚えたほうがいいです。単語テストは頻繁に行います。

#### ④正規科目履修期間

##### ◆大学の施設・環境について

正規科目はもちろん韓国の学生たちと一緒に受けるので語学堂以外の建物で授業を受けることとなります。ただし正規科目の中でも留学生向けに設けられている韓国語授業は語学

堂で受けることもあります。

正規科目では友達と申し合わせない限り、自分ひとりだけ外国人という場合が多いと思います。私はひとりで時間割を組んだので、もちろん自分以外韓国の学生という授業もありました。しかも私の場合、四回生ということもあり、ゼミに換わる難易度の高い専門的な授業を取らなければなりません。韓国の学生でも難しい授業を取らなければいけなかったもので、私はまず先生に挨拶しに行きました。正直に不安だと伝えれば、先生方も配慮してくださると思います。また韓国では、グループ課題も多いので、同じ授業の韓国学生たちと友達になると課題が進めやすいです。もちろん全て任せるわけにはいきませんが頼れるところは頼っちゃいましょう。

#### ◆履修科目

##### \*初級韓国語

正規科目の韓国語の授業で留学生を対象に開講された科目です。文法、作文、聞き取りなど様々なことを習いました。TOPIK 初級向けの授業です。

##### \*中級韓国語

初級韓国語のワンレベルアップした授業です。短い文章を読んでいき、要約していきます。韓国語の文章に慣れることができます。個人発表もあります。

##### \*高級韓国語（聴講）

先生に頼んで聴講という形で、中級韓国語と同時に受講していました。中級韓国語よりも長い文章を読んでいきます。個人発表もあります。

##### \*東北アジア研究論

韓国、日本、中国を中心に東北アジアを研究していきます。とても興味深い内容ですが、先生が経済学専攻でいらっしゃるの、専門的で難しいです。毎回レポート提出があり、グループ発表もありました。かなり課題は多いと思います。もちろん期末試験もあります。

##### \*青少年環境論

科目名の通り、青少年について学んでいきます。読書感想文、レポート、インタビュー、個人発表、グループ発表など課題がかなり多いです。期末試験もあります。

#### ⑤クラブ、課外活動、ボランティア活動

私はクリスチャンということもあり、サークルはCAM というキリスト教サークルに入っていました。また毎週日曜日には当然教会にも通っていました。私が通っていた教会はソウルの三大教会のひとつです。若者の多い教会で友達もたくさんできました。明け方礼拝のために4時に起きて地下鉄の始発で教会に通う生活を一ヶ月間したり、宣教活動のためにチェジュ島に一週間行ったり、教会のチームのお泊り会に参加したりと、とてもいい思い出になりました。私の留學生活の中心は教会だったといっても過言ではありません。

#### ⑥現地での住まいについて



私は1学期は国際生活館、夏休みはシャロムハウス、2学期はまた国際生活館で生活しました。1学期、夏休み、2学期、学期ごとに引越しをしなければならないのでとても大変でした。友達と力を合わせて頑張りましょう。国際生活館は部屋は2部屋でスーツケースを広げられないほど狭いです。距離感が近いので、プライベートはほとんどありませんが、ルームメイトとは家族のように仲良くなれます。私にとってかけがえのない存在です。寄宿舍の門限は11時半で当日までに外泊申請を出しておけば外泊可能です。規則は厳しいので罰点にはくれぐれも気をつけてください。寄宿舍は大学内にあるので通学には時間はかかりません。寝坊してもすっぴんで飛び出せば間に合いますよ。食事は寄宿舍の隣にある食堂で朝、昼、晩食することができます。寄宿舍に住む場合は、前もって食券を買わなければなりません。私の場合はいつもかなり残ってしまっていましたね。

#### ⑦長期休暇の過ごし方

私の場合、長期休暇といっても韓国語集中講座と正規科目を履修したために、ほとんどありませんでした。

#### ⑧留学期間中の就職活動の取り組み

留学期間中は日本での就職活動は一切していませんが、韓国での就職に興味があったので、韓国で合同説明会に参加しました。

## II. 留学の感想

#### ①留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

留學生活全てが楽しかったですが、特に教会での楽しい思い出がたくさん残っています。毎週日曜日、教会に通うのは何よりも楽しかったです。教会のオンニ、オッパたちは家族のようにいつもそばにいてくれてホームシックにかかることもありませんでした。私にとってかけがえのない存在でした。また、信仰生活的にも充実していました。

#### ②留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

寄宿舍のWi-Fiがなかなか安定しなくてかなり苦労しました。Wi-Fiが不安定なのが續くと、インターネットが使えなくなるので、連絡が全く取れなくなってしまう。連絡が取れない日が続くと、不安になりつらかったです。

#### ③文化・習慣の違いなどで驚いたこと

特に驚いたことはありませんでした。

## III. 留学希望者へのアドバイス

#### ①留学先大学の良かった点、悪かった点

ソウル中心部から離れていて自然に囲まれた素敵なおところですが、大学の周りにはほとんど何もなくて不便でした。

## ② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは一応共同のものがありますが、持っていったほうがいいと思います。日本の機械をつなぐプラグは必須です。また、行ってすぐに証明写真は何枚か必要だったので、日本で撮っていったほうが便利です。

## ③ 語学力の向上等、留学の成果

正直、語学堂以外では韓国語を勉強しませんでした。自然に身についた韓国語で韓国語能力試験 TOPIK 高級5級に合格することができました。日本にいるときは TOPIK3 級すら不合格だった私が5級まで合格することができたのは、やはり留学で身につけた生きた韓国語のおかげだと思います。

## ④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学は言語面だけでなく様々な面で自分が成長できる貴重な経験になると思います。社会人になったらなかなかできない経験です。私は留学して本当によかったと思います。私の留学生活は教会を中心に充実していました。日本人の傾向として多いのが、日本人同士で集まってしまうということです。日本人だけで行動すると範囲も狭まり、語学も伸びません。しかし私の場合、教会で私ひとり外国人だったということもあり、自然と韓国語で話していました。日本で机上の勉強だった韓国語を生きた韓国語として学べることは留学の特権だと思います。私は正直、留学中、語学堂以外ではあまり言語としての韓国語を勉強しませんでした。しかし、自分から積極的に行動して自然に身に付いた韓国語で韓国語能力試験 TOPIK の高級5級に合格することができました。思いっきり今までにないことをしてみるつもりで韓国に飛び込んでみてください。勉強も重要ですが、たくさん遊んでいい思い出を作ってほしいと思います。

#### IV. 写真



ルームメイトと板門店にツアーで行ったときの写真です。南北境界線を超えて北朝鮮に入った記念に撮りました。日常生活ではあまり感じる事のない北朝鮮について身近に感じることができました。また、南北の歴史を学びながら、休戦中であるという事実について深く考えさせられました。皆さんも留学中に一度行ってみてください。



仁寺洞にある写真館で宮廷の韓服を着て写真を撮りました。本格的な韓服を着ることができて、とてもいい思い出になりました。